

キャリアの旅路



キャリアの旅路

Vol.1

はじめに

本書「キャリアの旅路 vol.1」は、私にとって記念すべき初めてのZINE 制作となります。ZINE づくりについては、「まちのキャリアコンさん活動推進project（まちキャリア）」で知り合った村松さん(KEN23)から紹介された、西宮市の「まちのがっこう」の「本づくり」講座（藤本智士先生）で学びました。

「本づくり」講座では、ZINE を作り発表するという課題が与えられており、いろいろとテーマを考えているうちに、キャリアコンサルタント（キャリアコン）をテーマにしようと思いました。

私は、国家資格キャリアコンサルタントを取得しましたが、実務経験がなく、活用方法に悩んでいました。そんな中、たまたまキャリアコン仲間から紹介されたACCN（キャリアコンの職能団体）で「まちキャリア」という活動を見つけ、2024 年1 月から参加しています。

「まちキャリア」に参加することで、キャリアコンの多様な活動に驚きと新たな発見がありました。これらの活動は、個人のキャリア形成や社会全体の発展にも寄与していると感じました。

そこで、私と同じようにキャリアコン資格の活用に悩んでいる人々やキャリアコンを知らない人々のために、キャリアコンのZINE を作ってみたいと思いました。

キャリアコンは、個人が職業やキャリアに関する目標達成を支援する専門家です。彼らは、キャリアの選択、転職、スキル向上、職場での問題解決、病気や介護、育児と仕事の両立支援、キャリア教育など、さまざまなキャリア関連の課題に対してアドバイスやサポートを提供します。

私は、キャリアの形成をまるで冒険のような旅路だと感じています。キャリアは、仕事を通じて経験やスキルを積み重ねていく過程であり、この旅路は、自己成長や目標達成のプロセスを含みます。私は、この「**キャリアの旅路**」を通じて自己実現や満足感を得ることができると考えています。

本書では、まちキャリアの活動事例等を通じて、キャリアコンの魅力とその社会的意義を掘り下げていきます。読者の皆様がキャリアコンの世界に触れ、多彩で人間味溢れる活動を感じ、ご自身の「キャリアの旅路」において思いがけないチャンスや出会いのきっかけになれば幸いです

千葉 恭嗣 Kyoji Chiba



拝島 響子 (はいじま きょうこ) さん

- ・ニックネーム：ハイジ
 - ・東京都墨田区出身
 - ・公的金融機関勤務10年
 - ・結婚退職後栃木県に転居
 - ・医療機関勤務しながら子育てに奮闘
 - ・国家資格キャリアコンサルタント資格取得し需給調整機関勤務、副業・ボランティアでもセミナー講師や相談員として活動中
 - ・学生時代から結婚前までのバンド活動や劇団主宰経験を活かして地域活動団体等立ち上げ、そのうちの1つ「まちキャラ」は自分らしさを発揮できるキャリアコンコミュニティとして成長している
- 職業：ワークライフアドバイザー、就職支援コーディネーター
●取組：まちのキャリアコンさん主宰、とちぎ一期会長、年に2つ資格取得
現役女子大生、舞台女優 他

「まちのキャリアコンさん活動推進project（まちキャラ）」は、一般財団法人ACCN（オールキャリアコンサルタントネットワーク）の「テーブル」活動の一つです。ACCNは、全国のキャリアコンサルタント（キャリアコン）が交流し、学び合い、高め合うためのネットワークです。また、「テーブル」は、ACCN 会員が自主的にキャリアに関連するテーマに取り組み、議論やフィールドワークを行う実践活動のことです。この名称は、仲間と共にテーブルを囲むイメージから付けられ、キャリアコンとして社会に貢献する活動を表しています。

「まちキャラ」の主宰を務めるハイジさんに、キャリアと「まちキャラ」についてお話を伺いました。

👉 「まちキャラ」を始めたきっかけ

千葉 「まちキャラ」についてご紹介ください。

ハイジ 「まちキャラ」は、仕事以外の自主活動をプロジェクト形式で相互協力する取り組みです。キャリアコンが「まち医者」や「まち中華」のような身近な存在になれるように、今自分たちが出来ることで社会に働きかけようというものです。

また、自分のペースで無理せず継続できる、キャリアコンとして行動するための場であり、様々な職業経験、人生経験や特技を持ち寄って楽しく交流しながら試行錯誤できるコミュニティです。

千葉 「まちキャラ」を始められたきっかけについて教えていただけますか？

ハイジ 本業の他に地元でセカンドライフ、終活、起業等の講座をしていますが、仲間作りとか、集客、企画はとでも大変です。でもキャリアコンとしてやりがいを感じています。もっと全国でたくさんのキャリアコンさんたちが取り組めたらいいのにとあって ACCN に入会したのが始めでした。

そこで私は、若い頃にやってきたことをキャリアコンの世界でも活かそうと思ったんです。結婚する前、20代の頃に劇団を持っていて、秋葉原と新宿で公演をしていました。

その頃はバンドもやっていましたが、卒業して文化祭や学祭がなくなるとバンド活動もできなくなり、友達も集まらなくなってしまいました。

役者志望だったけど就職しなきゃいけなくなった人、ブラスバンドをやっていたけどみんなバラバラになってしまったりして、トランペットだけでは活躍できなくなった人もいて、そんな仲間を集めて「大人の文化祭」という公演をやっていたんです。

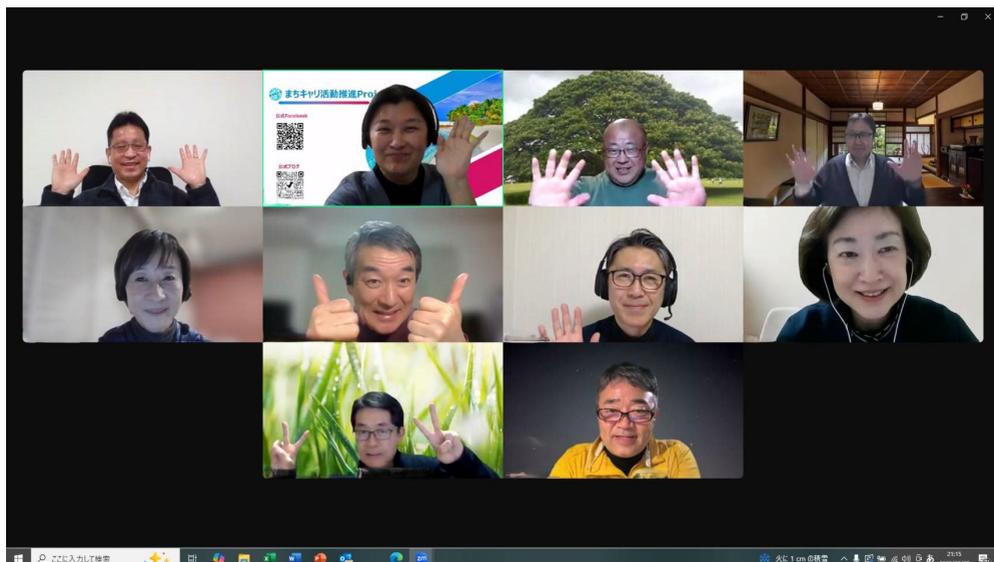
キャリアコンの資格を取得して、キャリアコンの世界でも何かできないかなーって思って。やっぱり自分の居場所って誰だって欲しいですよね。だから、**自分たちの活躍できる場所を自分たちで作っちゃおう**ということなんです。それで思いついて、2年半ぐらい経ちます。

✔ 主(あるじ)にならないと自己実現は出来ない

千葉 「まちキャラ」を立ち上げる前と今とで、意識はどのように変化しましたか？

ハイジ キャリコンの中には、コミュニティに関わりたと思っている人が多いかなと思います。私は、「まちキャラ」というコミュニティを立ち上げることが出来ました。とてもラッキーな事です。「まちキャラ」は、私の最初の事例、つまり事例0（ゼロ）なんです。

コミュニティや団体を作ることは、その作った人、代表の人の自己実現の場でもあります。まさに、キャリアオーナーシップです。主（あるじ）にならないと自己実現はできないということがわかりました。「まちキャラ」には事務局がなく、全員が主になれるようにしました。これにより、自己実現できる人を増やすことができます。



「まちキャラ」は小さな活動プロジェクトを作っていきます。みんなを主にして、主の自己実現をみんなで協力していくという形を作りたいと思っています。今、全国で約200名の皆さんと一緒に「まちキャラ」をやっていることは、本当に幸せだと思います。

千葉 ハイジさんご自身は、人が主になる場を提供する活動の主ということなんですね。

ハイジ みんなが主になって、その都度その人たちが事務局になればいいんです。ずっとやる必要はなくて、疲れちゃったり、違うことがやりたくなったらいつでも止めていいんです。気楽に主を練習する場所です。

もちろん、サポートがやりたい人もいますよね。そういう人は、いろんな主に付けばいいんです。今年はやれないけど来年はできるとか、そういうのが自由に行える場です。しばらく2、3年来なくてもいいような、いつでも戻って来てでもいいような、そんな場を作りたいかったです。

話は変わりますが、「板につく」という言葉がありますが、この「板」とは舞台のことなんです。演出をやっているときに感じたのですが、**役を与えられて演出がついて、上がる舞台があれば輝かない役者はひとりもないんです。キャラコンも板につく事が出来るんじゃないか**と思ったんです。

千葉 演出をやられていたんですね。

ハイジ 脚本、音楽作成、振り付け、演出、全部やってきました。自分も出演してました。やる事が多くて、本当に大変でしたね。

千葉 企画したり、それを実行したりすることがお好きなんですね。

ハイジ なかなか仕事では自己実現出来ませんよね。本業で失敗したらみんなに迷惑かけちゃうし、自己実現はやっぱりプロボノでやるっていいなと思っています。そして、とことんハードルを下げるのが重要です。**私たちはひとり残らず国家資格保有者なのでから、そこで小さな一歩を踏み出すだけなんです。**



先日ある方とまちキャラ面談をやった時に、「ハイジがやりたいことはピッチャーなの？キャッチャーなの？」って聞かれたんです。「どっちなの？」って。「違うよー、私はプロフェッショナルなグラウンド整備のおばさんだよ」って答えました。つまり、ピッチャーやキャッチャーがプレイする場所を整備する人なんです。

誰も来ない日もあるし、雪の日も雨の日もありますが、いつでも誰でも使えるようにグラウンドを整備しておくんです。例えば、コンサートをやりたい人がいたら客席を作って人を呼ぶし、サッカーをやりたい人がいたらゴールネットを持ってきます。そういう調整するのが楽しいんです。だから、私はピッチャーでもキャッチャーでもなく、プロフェッショナルなグラウンド整備のおばさんなんです。

千葉 どうしてそういうことが好きになったんでしょうか？きっかけとなるような、子供の頃の経験とか、感動した出来事が何かありますか？



大人の女性の像として思い浮かべることはよくある
んですよ。

👍 行動していると出会いがある

千葉 これまでの活動の中で感動したエピソードや
事例についてお聞かせください。

ハイジ 直接的にはわからないんですけど、実は私
は生粋の江戸っ子なんです。部長とか委員長、班
長をよくやってました。そういうタイプなんですよ。今
ぱっと思い出したのが、小さい時に大河ドラマを
見るのが好きだったんですね。

影響を受けたのが「おんな太閤記」の佐久間良
子が演じたねえさんとか、「草燃える」の岩下志麻が
演じた北条政子とか。尼將軍。何か、かっこいい
なあと思ったのは覚えています。

かっこいいと思って、行動が勝手にそうなるみたい
な。北条政子になるぞーじゃなくて、何かかっこいいな
あって。

ハイジ 現在、134件（2024年末時点）の「まち
キャラ」事例がありますが、実際に活動中のものか
ら構想や思いつきの段階のもの、計画中のものも
あります。

最近の事例として、北海道のリカさん（齋藤利
佳さん）がラジオ番組を始めたことがあります（「ま
ちキャラ」事例88）。加入時彼女は、「北海道で
キャラコンを知っている人がいないから、自分の住ん
でいる地域から広める」と言っていました。その後、
図書館でキャリア相談のコーナーを作ることを始めま
した。

事例88 地元図書館でキャリア支援活動

齋藤利佳@北海道

地元でキャリアカウンセリングを定着させたい！！という思いから、まちキャラに参加！
キャリアカウンセリング（キャリア支援）に約20年関わっていますが、全く世間に定着していない。
個人の職業人生や、人生そのものに役立つことなのに、なぜ？
試しに10人の人に「キャリアカウンセリングって知ってます？」と聞いても全員が「知らない…」
このまま何もしないと、また20年経っても定着しない？

**このままじゃダメ、だから思い切って
行動してみた！！**

令和6年8月3日（土）夏休み中に実施
ガイダンスカード（VRTカード）を使った
キャリアカウンセリング

時間：①13時 ②14時 ③15時

場所：市立留萌図書館 対象：中・高校生

結果は、参加者0（ゼロ）人でした😞

でも、やってみたら課題がたくさんわかった👏

次回は、冬休み??年内実施も検討中??

新たな事例も検討中！！



彼女は今年（2024年）の夏にキャリア相談コーナーを試みましたが、初回で人が集まらなかったそうです。そこで、集客の方法を考えていた所、偶然ラジオ番組のポスターが目にとまりました。

そこで彼女は、「こういう活動をしているので、皆さん来てください」と伝えるため、まず既存のラジオ番組に一回ゲスト出演をし、自分の番組を持つことが出来たそうです。

これはまさにクランポルトの理論に沿ったものではないでしょうか。「地元でキャリアコンを知っている人が少ない地域で、キャリアコンの認知度を広める」という一本の軸を持ちながら、さまざまなことに挑戦している姿はとても楽しそうです。

あと、すごい似てるんですけど、山口にヨウコさん（山田庸子さん）という方がいらっしゃいます（「まちキャラ」事例118）。彼女も「何か自分のできる範囲のことをしたい」と思っていて、「せっかくキャリアコンの資格も取ったし」と言っていました。公民館でいろいろな人が集まっているので、「セミナーとかではな

く、私こういうことをやっているんですよ」と言って、「何かないかなあ」と思って「まちキャラ」に参加されました。

その後、何回かまちキャラ面談を行い、彼女は公民館のヨガ教室や体操教室に参加して、自分から積極的に人と関わっていくことで、お友達になった人と繋がりができました。今すぐ何かをするわけではないけれど、何かあったら一緒にできるかもしれないし、公民館のヨガ教室や体操教室の後にみんなでお茶を飲む場で、「何か悩みがある人がいれば聞こうかな」と思っているそうです。

彼女は何も気負うことなく、「ちょっとヨガ教室を見てくる」と言って、しっかりと友達を作っていました。彼女は自分のキャリアの主であり、その姿勢が素晴らしいと思います。小さな行動を起こした彼女が「楽しい」と言ってくれて嬉しかったです。「まちキャラ」を作って、本当に良かったと思います。



もちろん千葉さんがZINEの題材に「まちキャラ」を考えてくれたり（「まちキャラ」事例124）、KEN23（「まちキャラ」事例125）と繋がって交流を深めてくれた事もそうです。

千葉 想いをもって行動をすれば、何かに繋がるといことなんですね。

ハイジ 行動していると出会いがあり、繋がるんですよ。別にすごいことをする必要はありません。自分が楽しいことをして、いろいろ広がっていけばいいだけです。そこに重い責任感もなく、仕事でもないので、とても楽しいですよ。いつ止めてもいいですし、もちろん続けてもいいんです。



📌 今後の取り組み

千葉 今後どのような取り組みをしたいと考えていますか？

ハイジ 今度、来年（2025年）2月22日に名古屋でキャリアナビゲーターのイベントがあります。こういうイベントをやろうという人は少ないですが、いないわけではありません。そこで、年に何回か全国を回る「まちキャラジャーニー」という活動を始めました。いろんな人に出会い、それを継続して繋げていくという意味でそう名付けました。

第一回目は愛知のヤスさん（高安高寛さん）が名古屋で開催する予定です。私は名古屋のことがわからないので、会場はヤスさんが取ってくれて、現地のヤスさんと仲間たちがイベントを企画・運営しています（「まちキャラ」事例126）。私の役割は、ACCNと連携しもっと大きく宣伝（プロモーション）することです。

キャリアナビゲーターの授業を体験しよう

キャリア教育模擬授業体験イベント

名古屋市中・高等学校常勤キャリアナビゲーターの仕事理解を深めよう！

2025
2/22
【土】
13:00～17:30

限定
25名枠

お申し込み用フォームはこちら

イベント詳細はこちら

ACCNテーブル活動27まちキャラProject 担当：高安

当日のプログラム

- 自己紹介
- キャリアナビゲーター2名によるキャリア教育模擬授業体験と体験後の振り返り
- 現状のキャリア教育について参加者の思いを交えてセッション
- 本日の振り返り

参加費は無料です

会場：ルームD 名駅セミナーオフィス
〒450-0002 愛知県名古屋市中村区 名駅 2-28-1
OA第一ビル 3F ルームD

応募締切：2月9日（日）
【応募多数の場合は抽選となります】

自分たちで地域活動するのでしたら是非、「まちキャラ」を活用してACCNを通じた活動にしませんか。全国の皆さんのところに会いに行きたい、そしてお手伝いもしたいという気持ちです。これは私の夢でもあり、その第一弾が2月にあるので、とても感激しています。

千葉 「テーブル」からどんどん世界を拡げていかれているんですね。

ハイジ 「テーブル」の中だけで活動するのではなく、

「オープンイノベーション」という事例（「まちキャラ」事例83）を作って、ハイジ自身の外部活動を持ち込んだり、一般の人も参加OKにしたいです。それを見て、「それならうちにも面白い友達がいるよ」ってどんどん呼んでもらって、キャラコンじゃない人もどんどん参加してもらいたいです。

千葉 キャラコンじゃない人も入れていきたいですね。

ハイジ 「まちキャラ流話の聴き方/聴きジョーズ練習会」（「まちキャラ」事例71）には、キャラコンではない方も参加しています。また、先日の文化祭（まちキャラ文化祭2024 in 浅草、2024年11月9日開催）でもそうです。ですので、キャラコンに興味を持ってくださる人たちをいかに増やすかに挑戦したいです。

一般の方で素晴らしい生き様の人がいれば、KEN23の「生きざまのがっこう」にゲストで出て来るような方々もどんどんこちらに来て欲しいと思っています。



千葉 いろんなジャンルの人とコラボすることによって、キャラコンの世界だけに閉じこまらないということですね。

ハイジ 参加しているキャラコンの方々も、キャラコンのことを知らない方々も、もっと混ぜていきたいと思っています。

千葉 その事によってキャラコンの認知度をあげていくということでしょうか。

ハイジ そうですね。キャラコンの人って面白いって思ってもらえると嬉しいです。仕事は自分で見つけられるんだよ、出会いが大事なんだよ、ということを伝えられたらいいなと思います。



千葉 キャラコンがいろいろな活動とコラボする中で、コア（コアコンピタンス）となる部分は何だと思っていますか？

ハイジ **まず場の雰囲気を作ることは、キャラコンが得意とするところだと思います。**

千葉 どのようなことが得意なんでしょうか？

ハイジ 例えば、否定しないとか、その場の心理的安全性を高めるとか。そうすると、全員のパフォーマンスが上がります。そういう場を作れるのが、キャラコンのスキルだと思います。習っていないし、資格も持っていないのに、そういう能力が高い人もいます。是非キャラコンの資格を取ってほしいです。そして、コラボしていきたいですね。

あとそれぞれが豊富な人生経験、職業経験を持っている事です。例えば私の場合は、病院（精神科）勤務の経験やメンタルヘルスの資格を活かして活動しています。キャラコンのスキルに何を混ぜるか、何と掛け合わせるか、誰と組むのかも重要です。

それぞれが自分のスタイルを作り上げることで、キャリアコンと一緒に仕事をしたいと思ってもらえるようになるといいなあ。例えば、メンタルヘルスが得意な人や子供の教育が得意な人など、さまざまな専門分野の人がキャリアコンにいて良いと思います。

場を作るのが上手で、みんなのパフォーマンスを上げることが出来る...そういう人は絶対にみんなに愛されると思います。

千葉 キャリコンの良さは、経験が豊富という事と場づくりという事なんですね。

ハイジ 場づくりって何だかわかりますか？場づくりって、演出なんですよ。自分を演出できるし、人を演出できるし、場所も演出できるんです。

☑ オンリーワンの自覚と多くの失敗体験が原動力

千葉 ハイジさんの原動力はどこから来るものでしょうか？

ハイジ まず、成功体験です。過去の成功体験から、他の人とは違うものを持っている、差別化された自分があるからです。優れているわけではなく、誰にもないオンリーワンだという自覚があります。これは、誰でもそうだと思います。世界に一つだけの〇〇ですから。

また、多くの過去の失敗体験があることで、もう怖がらずに前に進めるんだという余裕に繋がるんだと思っています。



まちキャリアの事例一覧（2024年末時点）

「まちキャリア」メンバーのクローズドなSNSで公開されているリストより一部抜粋

※ 事例名は初期設定時のものであるため、途中で変更されているものも含まれています。

※ 赤字の事例は、本文で紹介されたものです。

※ 興味がある方は、毎年10月に開催される『まちキャリア活動お披露目会』（「まちキャリア」事例92）にご参加ください。

0. まちのキャリアコンさん活動推進 project

1. セカンドキャリアを考える会
2. 女性のための就職相談会
3. ジョブカード活用面談
4. ミドルからのシニア支援
5. キャリコンサーチ活用面談
6. 変化の時代のキャリア
7. セカンドライフ構築
8. 2級技能士のための勉強会主宰
9. 強み発見 WS/子育て中の外国人対象
10. 自治体委託 プチ起業支援講座
11. フェスタ my うつのみや まちキャリアブース出展
12. 自治体主催市民提案講座
13. まちキャリア文化祭 リアルイベント
14. 就活と終活のすすめ(再演)~リアルな俺んちの終活の話~
15. セルフブランディング勉強会主宰
16. まちキャリア女子会（織姫会）
17. オンラインでゆるいリフレクション(振り返り対話会)
18. 東京でまちキャリアシンポジウム開催
19. 今さら聞けないジョブ・カード
20. まちキャリアオンライン
21. まちキャリアメンズ会（誰でも交流会）
22. まちキャリア町田会
23. まちキャリア WEST（西日本）
24. キャリコン×保有資格でブランディング
25. 公民館で人生 100 年キャリア支援講座
26. 初めてのガチ起業プチ起業副業を考える会
27. キャリアと不妊治療の両立
28. 町内会キャリアコンを実現
29. キャリコン受験支援
30. トライアルズ(活動スタート支援)zoom ホスト練習、講師練習
31. まちキャリア活動オリエンテーション
32. 毎年 11 月 ACCN キャリアマンスでテーブルフェス開催

33. around ACCN
34. まちのキャリアコンさんとアバタートーク
35. キャリコン処世術
36. 大学生起業支援
37. CCメソッド活用による企業支援
38. 定年は天国か地獄か
39. キャリコン自身が幸せであるためのワーク
40. 受験支援現場から キャリコンに必要なこと
41. 県職員キャリアコンのリスキリング
42. 更年期を正しく理解する
43. 女性支援 両立支援を考える
44. キャリコン×まち活動
45. キャリコン×プチ起業
46. 宇都宮市でまちのスナック『すなっくハイジ』
47. 元同僚のキャリアコンサルティング
48. キャリアコンサルティング体験会
49. 全体ミーティングがない月にも集まるう会
50. 小中学生向けキャリア教育の実践
51. 心理の集い
52. おひとりさま支援の集い
53. 名神阪の集い（関西近県メンバー）
54. まちキャリア活動実践してみた
55. 地元で仲間とキャリア支援チーム
56. 学習塾で中学生キャリア教育
57. まちキャリア体験講座④
58. まちのスナックでチーママやってみた！
59. 専門学校で応募書類指導
60. 誰でも気楽にキャリア相談できるしくみを考える
61. キャリア塾の設立
62. サードキャリア支援を考える
63. 東名阪キャリアコン勉強会
64. 関西キャリアコンさん、全員集合！グループラインで話す会
65. まちキャリア体験講座⑤ まちキャリアアンコール
66. 文化祭とテーブルフェスのたたえ合い会

67. 地域で自治体と協力 こどものキャリア支援
 68. 学生支援キャリアコンさん、全員集合！グループラインで話す会
 69. 大阪でリアルイベントを検討
 70. 南日本キャリアコンさん、全員集合！グループラインで話す会
- 71. 🍀 キャリコンたちの秘密の面談練習会**
 72. 身近な人たちとまちのキャリアカフェ
 73. コーチング×キャリアスキルで実践
 74. 地元イベントに出店
 75. まちキャリア体験講座⑥ 更年期を考える
 76. まちキャリア体験講座⑦ ファシリテーションの超基本
 77. まちキャリアLabo～現場の声を拾ってとことん課題解決
 78. EQをキャリアコンに活かそう
 79. IT技術者支援キャリアコンさん、全員集合！
 80. キャリコンと社労士のタッグについて考える
 81. 事務局運営を経験する会
 82. テーブルフェス実行委員会
- 83. 外部機関との連携 オープンイノベーション**
 84. こどもとおとなの世代間交流とキャリアコンの介入
 85. トークイベント
 86. 後輩の受験支援 受験の心得・ロープレ練習会
 87. 医療介護系キャリアコンの会
- 88. 地元図書館でキャリア支援活動**
 89. 高校生向けライフデザイン研修
 90. 教えて！小中高キャリア教育
 91. ワーキングマザー支援
- 92. まちキャリア体験講座⑧まちキャリア新人戦（仮）**
 93. 関東キャリアコンさん、全員集合！グループラインで話す会
 94. セカンドライフ/シニア応援キャリアコンさん、全員集合！ライングループで気軽に話そう会
 95. 女性応援キャリアコンさん、全員集合！ラインで気軽に話そう会
 96. 後輩と座談会的キャリアカウンセリング
 97. まちキャリアちゃんねる
 98. ACCNテーブル見学会イベント『ウエルカムフェス』
 99. まちキャリアにたどり着くまで
100. まちキャリアポッドキャストちゃんねる
 101. 私のキャリア～キャリアコン資格の活かし方
 102. ジョブタグ（他アセスメントも）を実際に試して検証する交流会
 103. CC受験を忘れないためのおさらい会
 104. 各分野のキャリアコン実務者から話をきいてみよう
 105. まちキャリアロープレカフェ A.B.C
 106. 本屋さんのイベントスペースで周知活動
 107. ポッドキャスト プレスリリース ミヤラジゲスト
 108. 地元で中学生キャリア教育を始める為の取り組み
 109. アカウント運営トライアルズ(仮)
 110. 地元イベントでまちのスナックママ
 111. まちキャリアアンバサダー任命制度
 112. キャリコンMIKAWAYA構想
 113. まち活動ブートキャンプ
 114. レジリエンスの世界ようこそ
 115. マネーとキャリアとセカンドライフ
 116. まちキャリア®活動ベース（活動拠点）
- 117. 地元FMでパーソナリティ**
118. 公民館の団体とのコラボ
 119. 歯科衛生士×キャリアコンW資格で起業
 120. まちのすなっくリクエストナイト（有料）
 121. 大学生のキャリア支援
 122. いつかは見送る・見送られる
 123. Theメンタルヘルス 訓練前キャリアコンの現場から
- 124. まちキャリアZINEの作成と作成支援**
125. 生き様の学校まちキャリア分校
126. キャリア教育体験会
 127. ACCN YouTubeチャンネル出演
128. まちキャリアジャーニー(出会いの旅路)
 129. まちキャリア体験講座⑩
 130. まちキャリア体験講座⑪
 131. ミドルシニアからのお金の話
 132. マイホーム購入から考える私のキャリアプラン
 133. 50歳から考えたいセカンドキャリア & キャリアプラン
 134. キャリコン×保有資格・得意技でブランディング実践編～華麗なセカンドキャリアに挑戦

村松 賢一 (むらまつ けんいち) さん



- ・ニックネーム：KEN23（ケン兄さん）
- ・兵庫県出身、68歳
- ・40年間の生命保険会社でのサラリーマン生活を5年前に終え、企業向け研修講師、キャリアコンサルタントとして独立起業
- ・現在は様々な企業で主にミドル・シニア向けのキャリア研修の講師、およびキャリアの相談対応業務に従事
- ・また近年は、地元の地域活動（ボランティア）にも首を突っ込み、活動の領域を広げている
- 資格：国家資格キャリアコンサルタント、米国CTI認定プロフェッショナルコーチ
- 兵庫県西宮市在住、妻と二人暮らし、子供3人は独立し、孫4人のじいじ

「生きざまのがっこう」は、それぞれの人生のストーリーを共有し、学び合う場です。参加者同士が話を聞くだけでなく、対話を深め合える場を提供します。多様な生き様に触れることで、参加者は新たな視点や価値観を得ることができます。「生きざまのがっこう」は、単なる学びの場ではなく参加者同士が互いに影響を与え合い、成長するコミュニティです。

「生きざまのがっこう」の校長を務める KEN23（ケン兄さん）に、キャリアと「生きざまのがっこう」についてお話を伺いました。

✔「生きざまのがっこう」を始めたきっかけ

千葉 「生きざまのがっこう」を始められたきっかけについて教えていただけますか？

KEN23 そうですね。2019年に会社を40年勤めて辞めました。当時62歳やったんですけども。それから個人で独立しまして、キャリアコンサルタント（以下キャリアコン）、あるいは企業向けの研修講師として起業しました。2019年は良かったんですが、ご存知の通り翌年からコロナがまいりまして、2021年の前半までは仕事がなくてドボン、完全にプータローみたいな感じでした。

で、だいぶコロナが明けてまいりました2021年の秋くらいかな、コロナがあって籠って仕事をしていて、当時ほとんどオンラインでしたから、パソコンの向こう側がほとんど東京の方ばかり。直前は東京に居りましたから当然やむを得ないんですが、関西に帰ってきて西宮に居るのですね、東京の方とずっと仕事をしている自分の姿に愕然として、これはまずいなと思ったのです。

それで、何かしら地元と繋がってかないかなと。まあ、私は仕事の人生っていうのはどっかで終わりを告げるんで、最終的には地元・地域に帰るとことだろうと思っていたんで、地元プロジェクトを始めることにし、2021年の秋ぐらいから、西宮の隣の尼崎で街づくりのプロジェクトに参画しました。

そこで出会った方とその翌年 2022年 に尼崎の街づくりの会社で、65歳のインターンを1年間やりました。そのからみでですね、尼崎は結局1年で終わったんですけども、西宮のNPO法人の代表をやっている田村さんという方に出会いまして、ちょうど彼が地域に開かれたオープンな学校を作りたいということで、「まちのがっこう（まちがく）」を2023年の春から立ち上げるんですけども、シニアの人の何かをやりたい

ということを私が常々申しましたので、彼はそれを覚えてくれて、2023年の2月くらいに、田村さんから「今度まちのがっこうをやりますが、シニア向けに何かやりませんか?」と誘われたことが、「生きざまのがっこう」を始めるきっかけとなるわけです。

彼からその言葉ももらって、これはおもしろいなど。実はそれ以前からちょっとなんか学校みたいなことをやりたいという想いはあったんです。地域に開かれた学校、こじんまりしたものですけれどもね、「まちのがっこう」の中に科目、単科みたいなものがありまして、その一つが「生きざまのがっこう」になるんです。

私はキャリアコンとして、企業のミドル・シニアの方々とキャリア面談を行っています。**私自身、「キャリアを生き方そのもの、働き方そのもの」と幅広く捉えています。**そのため、様々な方の「生きざま」をお聞きしています。



その経験を活かし、講演者を選定してみんなで話を聞き、聞いて終わりではなく、それをどう感じたかを対話する会をイメージしていました。そして、「生きざまのがっこう」という名前で2023年6月からスタートし、2023年度は2ヶ月に一度のペースで5回開催しています。

今年(2024年)は「西宮 ひとの授業」という名称に変わり、これまでに3回開催しました。このあと、来年(2025年)2月に4回目を予定しています。

今年は4回しか出来ないかなと思っていますが、要するにほしい2時間のイベントですね。このうち1時間くらい講演者の方、その生き様の面白い方を呼んできて、お話を伺ってみんなで対話すると、そういうことですね。

それをやる上でですね、きっかけはそういう事だったんですけども、何か一人でやるのも面白くないなと思ったので、企画メンバーというのをですね、私の知っている心やすい、気やすいメンバーをですね、中学校のクラブと一緒にやった奴と、それから大学時代バイト一緒にやっていた奴と会社時代の同期の男性3人を一人ずつ口説いて、ついでにうちの嫁さんも23年の暮れにケアマネジャーの仕事を辞めましたので、私が入って男性4人、女性1人の5人の企画メンバーで生きざまのがっこうをスタートしたと。そんな感じで始めたのがきっかけですね。

千葉 物事がどう発展するかは本当にわからないものですね。

KEN23 そうですね。田村さんが声をかけてくれたのも、実は彼と出会ったのも、その前に一年間尼崎で街づくりの会社にインターンで行っていた時に機会があったんで、そうなんです。そういうふうに繋がっていますよね。ご縁だと思います。

👍 キャリコン経験プラスαのチカラ

千葉 「生きざまのがっこう」の運営において、キャリアコンとしての経験がどのように役立っているとお考えですか?

KEN23 そうですね。「生きざまのがっこう」を始めたのは、キャリアコンとして生きざまを聞きたいという思い

からでした。しかし、運営していく上でキャリアとしての能力や素質が役立ったかという、あまり感じていないんですね。むしろ、プロジェクトマネジメントの力（プロマネ力）が大きかったと思います。

一回一回のイベントをプロジェクトとして捉え、企画からスタートし、講師の選定や打ち合わせ、当日の役割分担などを行っています。これらの一連のプロセスを管理し、マネジメントしていくことが重要です。あとは段取り力とか巻き込み力、MC力、企画構成力とかね、当然行動力も要りますし、キャリアコンというよりも、こういうイベントやプロジェクトを回す上での資質みたいなものは自分にあったのかはかどうかは別にして、こういったことをやる上で重要だなんて思っています。

千葉 プロジェクト管理や巻き込み力が非常に役立っているということですね。

KEN23 そうですね、段取りですね。次の手次の手を見据えて進めていくことが大事だと思います。

千葉 キャリコンとしての視点からは、参加者に気づきが得られる場を意図的に作っているのか、それとも自然に任せているのか、どちらでしょうか？

KEN23 感覚的には両方あります。企業研修講師としての経験から、その場その場でアドリブを効かせることもありますし、意図的に気づきの場を作ることもあります。キャリア研修講師としての経験がMC や場を作る力に役立っています。いろいろな話を聞いて、それをどう引き出すかが重要です。講演者とオーディエンスの間で対話を引き出し、全体の場を作るのはMCとしての役割です。

千葉 キャリア研修講師としてのファシリテーション力が役立っているんですね。

KEN23 そうですね。研修のファシリテーションは、こういう場を作る時に役立っています。



☑ キャリアに終わりが無い

千葉 「生きざまのがっこう」を通じて感動したエピソードがあれば教えてください。

KEN23 つい最近わかったことですが、「生きざまのがっこう」では一回一回講演者が違うので、根雪みたいに毎回お見えになる方がそんなに多くないですよ。オーディエンスがバラバラになる場合があるわけです。で、そこでいろいろ語ってもらって繋がっていても良かったらいいなとは思んですけども、余りそういうことはこれまでわからなかったんですが、実はこの間新しい出会いがあったことが分かったんです。

昨年の「生きざまのがっこう」の4回目で、近藤さんという方が講演しました。彼は元サラリーマンで、退職後に喫茶店をやりながら、西宮を舞台とした映画を製作するような、映画のプロデューサーとして活動されています。彼の話聞いたお客さんが、その後彼の喫茶店に足繫く通うようになり、近藤さん

との繋がりが生まれました。要するに「生きざまのがっこう」を通して近藤さんと出会って繋がりが広がったという話を聴いて、すごく嬉しかったですね。

あとは、お客さんというよりも企画メンバーですね。いわゆる副産物みたいなものですが、学生時代の仲間や会社時代の同期と一緒にプロジェクトを進めることで、チームとしての絆が強まりました。定年後って人の繋がりがどんどん希薄になっていくんで、自分で作ったコミュニティですけれども、

研修講師として50代、60代の方の前に立ってキャリアの話をする時に、定年後の自分が生き生きしているのかみたいなことは絶えず自問自答している感じがあるんですね。だから、自分の体を通して定年後のキャリアを自分もまだまだ探求中だと申し上げたいんです。キャリアに終わりが無い。

キャリアって生き方そのもの、働き方そのものということになると、キャリアって「死ぬまでキャリア」って思っているわけですよ。だから、キャリア研修講師とし

第4回「生きざまのがっこう」開催レポート 開催日：2023年12月6日（水）18時半～20時半



講演者：近藤 修平さん（映画「にしきたショパン」プロデューサー）

参加者：対面参加 18名

オンライン参加 5名 合計 23名

講演の概要：

早期退職後に思い切ったチャレンジをに踏み出し、いくつもの壁や不安を乗り越え、一つずつ「カタチ」に変えて進めて来られた近藤 修平さんの生きざま。良いものを創りたい、誰かを応援したいという純粋な想いと、近藤さんの人柄だからこそ、そこにたまたまのようにつながっていく縁。

映画製作のウラ話もたっぷりと聴けたのですが、個人的には、サラリーマン時代終盤に身に降りかかった大きなトラブルに、トップとして対処された際のお話などもあり、長い会社人生を送りながら、合唱にオペラ、映画製作とこんな芸術的で稀有な生きざまがあるのかと驚くばかりの1時間でした！

実は2次会も映画のお話満載で、夜は更けていきました・・・

★事後のアンケートから・・・（抜粋）

「58歳まで会社に勤めてからの新たな挑戦で、さまざまな壁を乗り越え続けるなど制作を考えると、並々ならぬ百勞であったと思います」

「残念ながら映画はまだ観る機会がなかったのですが、近藤さんの想いと生きざまに元気をいただきました」

「気になっていた“にしきたショパン”の話や映画プロデューサーになった経緯など興味深い面白い話が聞けたので、とても良かったです！」

「ただひたすら一人の人生に耳を傾ける、いい時間だなあと思いました」

「身近でも自分のできる事を一歩踏み出して、その一歩が波紋となって周りに影響を起こしている方がおられることに、私も力を頂けます」



こういうものが生き生きと日々進化していくのは大事なことだと思っています。また、自分自身にも地元の知り合いが増えてきたことも良かったと思います。

千葉 「生きざまのがっこう」をきっかけとして、西宮の中での人のつながりとか、企画者同士のチームワークで楽しく過ごされているわけですね。

KEN23 自分のキャリアを自分なりに探求追求しているところがあるんですけどね。私自身がキャリア

でも、企業のシニア社員を対象にしているから、定年後の自分が生き生きしているのかということ絶えず問われているのかなと思っています。地域の話も自分のテーマとして追いかけているみたいなのところがあったね。

そういう意味でも、企業のシニア社員さんの「地域デビュー」みたいなことを支援したいし、その一つのツールが「生きざまのがっこう」だと思っているんですね。地域で何かしらしようとしても、簡単にはいかないんですよ。でもこういうイベントの形にして、そういうことをなぞ

らえてトライしてみませんかという形のことは考えています。

☑「生きざまのがっこう」を始めてからの変化

千葉 「生きざまのがっこう」を始める前と比べて、何か変化を感じることはありますか？

KEN23 地元西宮への愛着が湧いてきました。それで、西宮の情報発信をしています。次回の授業では、西宮で地域メディアを長年運営してきた方を招いて話を聞く予定です。来年 2025 年は西宮市制百周年ということもあり、他の地域の方々から西宮がどう見られているのかをSNSで調査してみました。

結論としては、「甲子園球場」が一番出てきましたが、東の方に住んでいる人からは「西宮って大阪？兵庫？」という話になることが多いです。逆に、西の人から見たら、北関東の市が栃木なのか茨城なのか群馬なのかわからないこともあります。回りくどい話になりましたが、地元西宮への愛着がすごく湧いてきました。

千葉 地元への愛着が湧いてきたんですね。

KEN23 そうです。それともう一つは、先ほど自分自身が定年後のキャリアを探求していると言っていますけど、**定年すると、仕事がなくなると同時に収入と役割と居場所と繋がりがなくなるよって、結構キャリア研修で言ってるんですね。**定年になったら、そこから桃源郷が広がっているみたいだね、もう明日から自由やと、もうね、会社のしがらみもなくなると、思うんだけど、ゴルフ三昧・釣り三昧やったらもうね、1カ月も持たへんみたいな話もあるじゃないですか。そこから、キャリアコンというキャリア

自律、自分でキャリアオーナーシップで作っていかないかんわけじゃないですか。そこがねえ、在職中の方は認識していない感じがあると。

定年後の私は、小さなコミュニティを作りながら繋がりを保っています。会社を辞めてもうすぐ6年になりますが、繋がりがどんどん希薄になっていくのを感じます。会社の現役の仲間とは、在職中は一緒に昼食を食べたり、時々飲みに行ったりしていましたが、退職後は基本的に繋がりが切れてしまいます。特にコロナの影響もあって、繋がりが薄れていくのを実感しています。それなので、自分で繋がりを作っていくことを続けています。



もう一つの変化として、自分の小さなコミュニティを育てて繋がりを作っていけることは、私にとって非常に大きな財産です。例えば、「まちキャラ」（キャリアコンの団体ACCNにあるテーブル活動で、正式名称は「まちのキャラコンさん」というコミュニティ）を通じて出会ったハイジさんや千葉さんも大切な繋がりで、それから、「まちキャラ」を通じて「チーム高井田」のメンバーと出会えたこともね、やっぱり私、自分のコミュニティとして、繋がりをすごく大事にしたいんですよね。高井田さん、千葉さんとあとのメンバー、私も含めた8名の「チーム高井田」は、これから一人一人がキャリアコンとしてね、自分らしく、こう羽ばたいて行っていただけるように相互支援していきたいなと。ああいう繋がりをね、すごく私は意識して作るようになってきたなというのは、この「生きざまのがっこう」が起点やなと思っ

ています。

🕒 今後の取り組み

千葉 キャリコンとして、今後どのようなことに取り組みたいと考えていますか？

KEN23 今申し上げたようにねえ、やっぱり自分が永らく、ザ・昭和な働き方をしてきたんですけどね、40年間同じ企業に勤めてきてね。その、定年迎えてね。で、再雇用2年やって会社を退職しました。で、今65過ぎたんで、まあ私の同期も100名以上いて、みなグループLINEで繋がっているんですよ。それぞれ近況をあげて来よるんですけどね。みな色々ですわ。面白いなあって見てるんですけど。

要するに何が言いたいかっていうと、やっぱり**企業人、サラリーマンが在職中から定年後に向けた、定年という会社を卒業するという大きなトランジション（転機）をね、それぞれが上手く越えられるようにキャリコンとしてはご支援申し上げたいなあと**。すごく想いとしては、自分がそういうような道を歩んできてるんですけどね。やっぱりこの経験、さっき言ったような定年で仕事を辞めてから収入や役割や居場所や繋がりが無くなってということがもう実感値としてあってね。そういうことを在職中のみなさんにね。

特にやっぱり50代の社員さんみなモヤモヤするじゃないですか。これから先が見えてきて、定年後どうなるんやろとかね。だから、まあ役職定年とかねえ、役職定年前研修とかこの間もやったんですが、50代のみな役職者。ものすごいモヤモヤされますよねと。だからそういう定年前後のトランジションを上手く乗り越えていけるような、しかもそこからもう自分が自分を活かして、自分らしく生きていくわけじゃないですか。そこをキャリコンとしては、ご支

援申し上げたいなあ、みたいな事をすごく今、願って、そこに関わってみたいと思っています。



千葉 今後、具体的にどのようなことを実現したいと思いますか？

KEN23 結論から言うと、日本は超高齢化社会ですよ。特に定年後の男性が孤立するという社会問題がある中で、仕事を失うことが大きな問題です。ここで言う「失う」というのは、失業ではなく、定年で生活のど真ん中だった仕事なくなることを指します。これによって大きな損失を抱えることになりますが、それを自分の力で何とかしていく必要があります。

そういったことを支援しながら、高齢者が元気になる社会を作ることが大切です。若い人にとっても、元気に生きている高齢者がいる社会は希望になると思います。老害を撒き散らすような、年寄りが切れやすくなってカスハラをするような社会ではなく、みんなが元気に生きていく社会が非常に大事だと思います。

大きく世の中を動かすことはできないかもしれないけどもね。やっぱり周りの一人ひとりがやっぱりね、自分の持ち味、ここほんまにキャリコンの出番やと思うけど、一人ひとり違うわけやから。持ち味とか、背景とか、それぞれ興味関心も違うしね。得意技が違うわけじゃないですか。それをやっぱりキャリコンならではの眼力とね、ご本人の想いを重ね合わせて、その方々

がより生きやすい、より自分らしく生きていけるよう
なご支援。大きくはないかもしれませんが、いわゆる
一隅を照らすんでもええから、もうとにかく、身の
周りの方をそういう風に、1人ひとりの背中をね、
押ししていきたいという風な思いはしております。

千葉 キャリアという意味で、仕事だけでなく生き
方も含めて支援することが重要ということなんです
ね。具体的には、研修講師やカウンセリング、「生
きざまのがっこう」などの方法を駆使しながら実現し
ていくというイメージでよろしいでしょうか。

KEN23 そうですね。最近、数日前にたまたま新
しい出会いがあって、ベンチャー企業の社長と出
会ったんですよ。その人が面白いビジネスをします
と。実はそれをちょっと手伝うということになるかと
しています。どんな事かと言うとね、40代くらいの若
い男性の社長さんなんですけども、要するに、大企
業の若い人の副業兼業の人材を地方の人材不
足の中小企業にマッチングさせて、人の流通を図
るみたいな。実はその会社さんだけではなく結構あ
るあるのビジネスやと思うんですけど、たまたまそれ
をやっている方と出会いました。仲介してくれた
人がいるんですけども、キャリアコンの村松を会わ
せてみたらおもしろいinchがうかみみたいな感じで
会わせてくれたんです。

私はさっき言ったスキームをです、シニアこそね、
いわゆるいろんな分野の経験やスキルや知見を
持っているわけだから、まあ若手中心に彼は考えて
いたんですけども、シニアをここに持ってこれない
かと…。首都圏大企業のシニアを2カ月、3カ月の
プロボノ型インターンシップみたいな形で外へ。イ
ンターンシップはそこでやれるけれども、キャリアコン
として事前の自己理解研修とか面談みたいなことを
私が関わってやりましょうかみたいな話がちょっと

進みだしたということ。

シニアが地方にしかも越境学習的に期間限定で
ね、外に出ていくってすごく大事じゃないですか。社内
では当たり前のようなことを外でやってみたら、すごい
喜ばれるみたいなことって多々あると思うんでね。そう
いう越境体験みたいなことを支援するなんていうこと
は、私はすごく意味あるかなって思っています。



次頁、



ハイジさんも交えて対談した際
のお二人の対話を掲載しております。

千葉 シニア向けのキャリア支援ということでも、いろんな形があることがよくわかりました。やはり、KEN23のようにそういう想いで活動をしていると、どんどん繋がって発展的に物事が進むんだと受け止めました。今後方法もどんどん見つけていくって幅広くシニアのキャリア支援を実行していくということですね。それ自体がKEN23の生きざまでもあるということですね。

KEN23 その通りです。世の中の課題と自分の興味・関心とを結びつけながらキャリアコンとしてやろうとしているのが今の私です。

ハイジ プロジェクトマネジメント力の辺りの話ですが、巻き込み力や段取り力を発揮して自分らしく活動できるんだってKEN23が言っていた時に、いやいやそれだけではないでしょと思ったんですよ。

例えば、感動したいという強い思いがあるんじゃないかと、あと、人のための何か役に立ちたいという性分がなんじゃないかと。でその後に、自分の居場所だとか、自分らしくいるんだとか、人の集まりって楽しいよね、だって定年後繋がりが無くなるもんねって話が出てきたから、あーやっぱり人と繋がりたいし、人を繋げたいんだなって思ったの。そこが一番熱いのか、あと、その感動屋さんなのか、人好き屋さんなのか、何かスキルだけじゃない部分がないとこういうのやってられないよなって言うのが一つ。

KEN23 はい、ありがとうございます。その通りです。

ハイジ 一言で言うと？

KEN23 一言で言うと、やっぱりね、人が好きなんだろうね。で、今おっしゃったように、出会いを作りたいとか、人を繋げるとかいうの、「生きざまのがっ

こう」もある意味ひょっとしたら、こんなおもしろい人がいるで！みたいな形でね、みなさんや世の中に知って欲しいっていうのがあるんでしょうね。だから、そこでさっき言っていた、受けていた人がその人の店に行くということに無茶苦茶感動するっていうのはそういう事なんですネ。

ハイジ これだったんですよ。こういう強い思いがなかったら、スキルなんか活きないからっていうのが一つ。そして、もう一つは、対話式の「生きざまのがっこう」やまちのがっこう的なことを「まちキャリア」でやるときには、もうイベントとしていくらでもできるよとお伝えしたい。

例えば、過去の講演者の中でみんなにちょっと会わせたい人がいるなら事例を立てればいいわけで、「生きざまのがっこう まちキャリア分校 特別編」みたいな感じで一回きりのイベントをやればいいわけだから。こういうのはオンラインで西宮だけじゃなく、もっと他の人にもこの人の話聞きなよ、面白いよっていう人がいたら、「まちキャリア」でできるし、ACCNにも絡められんだよってことを言いたかった。

KEN23 ありがとうございます。だから、ハイジが言うように西宮に閉じずに、こんなおもしろい人がおるでっていうことをもっと世の中に私自身が発信していく場を「まちキャリア」の事例としてやったらええじゃないかと、こういうことやね？

ハイジ そういうことね。

KEN23 ありがとう。よくわかりました。

ハイジ いつでもWelcome よ。

「生きざまのがっこう」は「まちのがっこう」の中の1つの科目です!

令和5年度に同時開講する12の「がっこう」

Machigaku

ワートショップ
ワークショップ

えほんのがっこう
えほん

COFFEE
コーヒー

Culture
多文化

がっこう
ふくし

おやけ

企画書
企画書

SPEECH
語り

ふるさと
ふるさと

生きざま

camera
動画・写真

おかね

『まちがっこう』に入学すると受講できる12個のがっこう

※よって、「生きざまのがっこう」に参加するには、「まちのがっこう」に入学いただく必要があります。

◆「生きざまのがっこう」の標準的流れ（2時間）

- ・オープニング 5分
- ・講演者のお話 ●●さんの「生きざま語り」 60分
- ・休憩をはさむ場合も 5~10分
- ・参加者同士の対話の時間（少人数グループ）20分
- ・全体でのシェア（共有・質疑応答） 20分
- ・クロージング・次回のご案内 5分

※放課後タイム ⇒ 残りたい人で講演者を囲んで

◆話す内容

- ・簡単な略歴・その世界の話、ウラ側の話、珍しい話
- ・成功譚ばかりでなく、挫折、逆境、しくじりの話、それを克服した話
- ・人生を変えた転機（ターニング・ポイント）の話
- ・人生を貫くご自身のテーマ（夢や志）の話
- ・最後に参加者や若い人へのメッセージ などなど・・・

2023年「まちのがっこう」の中で、「生きまのがっこう」を5回開催!



あ と か き

ハイジさんとKEN23へのインタビューを通じて、キャリアコンの可能性を改めて感じました。お二人のお話は、自分自身が人生の最終コーナーをどのように歩いていくかについて大変参考になりました。また、ZINE作りを通じて新たな人との繋がりが出来、自分が主（あるじ）となる場づくりが出来たことを実感しました。

インタビューの結果を、できるだけ分かりやすく、臨場感を持たせて文章化するよう努めました。しかし、筆者の未熟な文章力のため、読者の皆様に十分に理解していただけるかどうか一抹の不安が残っています。不完全な形でのリリースになるかもしれませんが、少しでも多くの方に、かけがえのないお二人のキャリアコンへの想いや多彩なキャリアコンの活動事例をお伝えすることができれば幸いです。

最後になりますが、インタビューを快諾いただき、文章作成への助言やアイデアをご提供いただいたハイジ（拝島響子）さん、KEN23（村松賢一さん）にこの場をお借りして感謝申し上げます。また、冊子デザインや印刷等についてご協力いただいた四津谷竜子さん、校了前の段階で貴重なご意見を頂いたチーム高井田のメンバーの皆さまに対しましても心より感謝の意を表します。

千葉 恭嗣 Kyoji Chiba

- ・2023年5月に約37年間勤めた総合電機メーカーを定年退職後、他業種企業に転職し現在に至る（キャリアコンとしての活動実績まだない）
- ・「まちのキャリアコンさん」に参加することでキャリアコンの実践的活動を学び、国内・海外での経理・財務・IR部門での業務経験・社会経験を活かしたいと考えている
- ・国家資格キャリアコンサルタント（2024年1月登録）
- ・兵庫県神戸市在住

キャリアの旅路 vol.1

発行：千葉 恭嗣

発行日：2025年3月吉日 初版

Special Thanks,

村松賢一（KEN23）さん／拜島響子（ハイジ）さん

近藤修平さん／齋藤利佳さん／山田庸子さん／高安高寛さん

有安美和さん／石堂裕一さん／大福敦子さん／高井田健一さん／村瀬賢一さん／四津谷竜子さん

